

専門部会による企画1～4＜大会1日目＞(概要)

2019年8月26日(月) 16:05～17:35

金沢工業大学

1. 英語部会＜シンポジウム＞ (場所:未定)

テーマ「カタカナ語・基本語と派生語による語彙リストの作成と活用方法」

[概要]

本部会企画では、カタカナ英語および英語基本語とこれらの派生語からなる語彙リストがどの程度大学生の語彙習得を促進するのかを分析する。従来のような暗記のみにたよる語彙習得は、記憶容量に負荷をかけ過ぎるため効果がでにくい。そこで着目したのがカタカナ語と、基本語、基本語の派生語の活用である。selfは「セルフサービス」で日本語となっており習得しやすい。これをもとに word parts を付け加えることで、selfish, selfishness, unselfishness, unselfishly というように語彙を増やすことができる。book ののである「本」から「予約する(帳簿に書く)」が習得しやすくなり、booked, booking, bookish 等の派生語習得につながる。このリストを e-learning のコンテンツとしてアップロードし、定着率の違い等について分析し、今後の語彙指導のあり方を議論したい。

※企画代表:鈴木 政浩(西武文理大学)

《プログラム》

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1. カタカナ語・基本語等語彙リスト作成の経緯 | 鈴木 政浩(西武文理大学) |
| 2. カタカナ語の分析と中高教科書語彙との照合 | 南部 匡彦(国際短期大学) |
| 3. 意見交流 | |

(詳細は決まり次第、お知らせします。)

2. 学習支援部会<講演, ワークショップ> (場所:未定)

テーマ「自己調整学習者の育成に向けた学習支援の方法」

[概要]

学修(習)支援に関する講演および質疑応答を行う。講演内容は、学習者の自己調整学習を可能にする学修(習)支援のあり方、およびそこに勤務するチューターのトレーニング方法とする。全国大会では開催時間が限られているため、登壇者に相談し、可能であれば事前に資料等を配布する。当日はその内容についてのディスカッションおよび質疑応答を行う、いわゆる反転授業形式をとる。

※企画代表:石毛 弓(大手前大学)

《プログラム》

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 本企画の趣旨説明 | 石毛 弓(大手前大学) |
| 2. 講演者による解説 | 美馬 のゆり(はこだて未来大学) |
| 3. 会員によるワークショップ | |
| 4. 講演者への会員による質疑応答 | |
| 5. 総会 | 司会 石毛 弓(大手前大学) |

(詳細は決まり次第、お知らせします。)

3. ICT 活用教育部会<課題セッション, ワークショップ> (場所:未定)

テーマ「ICT 活用による授業や学習支援等の取組事例共有と 普及の検討」

[概要]

高等教育における ICT 活用への関心は高く、学習支援システムを活用した教育展開やeラーニングコンテンツ開発等の取組みが増えています。昨年度は、学習効果を高める授業設計のコツや開発したコンテンツをどう活用していくかについて、議論を行いました。次の段階として、学内や教職員、学生等に、どのように普及し、日常的な取り組みとしていくのかについて、各大学で実践されている取組事例の共有をベースに、どのように普及させていくことが望ましいのかを考えていければと思っております。今回は大学eラーニング協議会との合同企画による開催となります。

※企画代表:仲道 雅輝(愛媛大学)

《プログラム》

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 取り組み事例の共有(発表は数件を予定) | 発表者未定 |
| 2. 発表を受けての質疑応答 | |
| 3. 取り組みをどう普及させていくかの論議 | |
| 4. 成果共有・まとめ | |
| 5. 総会 | 司会 仲道 雅輝(愛媛大学) |

(詳細は決まり次第、お知らせします。)

4. 医療系部会<ワークショップ> (場所:未定)

テーマ「医療系学部における講義実践時の工夫を紹介する」

[概要]

本部会企画は、医療系学部における講義・演習時に、基礎力・応用力を養うためにどのような工夫をしているかを紹介し、その利点について話し合うことを目的とする。卒業時に国家試験を控えていることを踏まえ、学生が丸暗記に逃げない方法やポイントを外さない方法、深い理解力・応用力を養う方法などについての工夫を3名の登壇者に紹介していただくこととする。発表後の全体討論は、部会長司会のもとで行う。

※企画代表:岡田弥生(川崎医科大学)

《プログラム》

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. タイトル未定 | 吉田 友昭(未定) |
| 2. タイトル未定 | 未定 |
| 3. タイトル未定 | 未定 |

(詳細は決まり次第、お知らせします。)

専門部会による企画5～8＜大会3日目＞(概要)

2019年8月28日(水)13:00～14:30

金沢工業大学

5. 日本語部会＜ワークショップ＞

テーマ「日本語ライティング教育において「説得力」をいかに指導するか」

[概要]

ワークショップ「日本語ライティング教育における説得力のある文章作成指導」(第7回関東甲信支部大会で開催)では、日本語文章における「説得力」の指し示す多様な要素を、実際に学生の書いた小論文を用いて確認した。本企画では、その後継として、それらをどのように指導すべきか、また、どのように評価を行うかについて意見交換をし、最終的にルーブリック作成を目指す。

※企画代表:佐藤 尚子(千葉大学)

《プログラム》

1. 企画の趣旨説明 佐藤 尚子(千葉大学)
2. 【報告】ワークショップ「日本語ライティング教育における説得力のある文章作成指導」(第7回関東甲信支部大会で開催)について 佐藤 壮広(立教大学)
3. 【ワークショップ】日本語ライティング教育における「説得力」の構成要素を考える 近藤 裕子(山梨学院大学)
4. 総会 議長 秋山 英治(愛媛大学)

(詳細は決まり次第、お知らせします。)

6. 理数系部会<課題セッション>

テーマ「理数系科目における学習支援のあり方」

[概要]

今年度の理数部会では、近年の入学生の理数科目に対する理解度や学習観について検討するとともに、今後の理数科目の学習支援に対する在り方について議論する。

※企画代表: 西 誠(金沢工業大学)

《プログラム》

1. 金沢工業大学の学習支援
2. 名桜大学の学習支援

河津 祐之介(金沢工業大学)
高安 美智子(名桜大学)

(詳細は決まり次第、お知らせします。)

7. 学校教育部会<ラウンドテーブル> (場所:未定)

テーマ「新学習指導要領と大学教育—高大接続の学習課題の検討—」

[概要]

学習指導要領の改訂にあわせて、どのように大学教員側は指導法を変えていかななくてはいけないのか。また、予想される学生の質の変化について、今回は、大規模な改訂があった国語と公民に注目し、討議・意見交換を行う。

学校間の学力格差だけで問題意識を持つだけでなく、各勤務校の実態を報告し合うことによって、指導要領に対する共通認識を持つことを部会企画の目的としたい。

※企画代表:塩島 翔(二松学舎大学)

プログラム

1. 新学習指導要領「言語文化」「現代の国語」の報告—論文作法の面から—
塩島 翔(二松学舎大学)
2. 新学習指導要領「公共」の報告
—マーク式試験が公共の新規「教える順序」に与える影響—
小川 健(専修大学)
3. 意見交換
4. 総会

(詳細は決まり次第、お知らせします。)

8. 学習言語部会<ラウンドテーブル>

テーマ「AI(ビックデータ)時代における知識の構造化と 体制化を担う大学教育

–協働ワークショップで、教育コンテンツを共有する–

[概要]

大学では学生が各自の専門分野を持ち、その分野の体系的知識を学ぶが、中等教育までに見られる「科目」で区切られた学習観では、体系の中で概念の抽象度の段階を行き来しながら学ぶことに困難が生じるようである。本企画では、大学生がこれまでに学んだことをどのように知識としているかに着目する。学生のアウトプットから、知識のありようを検討し、体系的知識の構築を支える言語力について検討する。

※企画代表:たなか よしこ(日本工業大学)

《プログラム》

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. タイトル未定 | 河住 有希子(日本工業大学) |
| 2. タイトル未定 | 馬場 眞知子(元東京農工大学) |
| 3. タイトル未定 | 野崎 浩成(愛知教育大学) |
| 4. タイトル未定 | 志手 和行(東京福祉大学) |
| 5. タイトル未定 | たなか よしこ(日本工業大学) |

(詳細は決まり次第、お知らせします。)